

<速報プレスリリース>

上演全ラインナップ決定!

WORLD THEATRE FESTIVAL SHIZUOKA ふじのくににせかい演劇祭 2020

会期：2020年4月25日(土)～5月6日(水・休)

会場：静岡芸術劇場、舞台芸術公園、駿府城公園 ほか



ふじのくににせかい演劇祭 2020 速報チラシ / 表紙：たきいみき (SPAC) ©日置真光

[ふじのくににせかい演劇祭 2020]

主催：SPAC-静岡県舞台芸術センター 助成：令和元年度 文化庁 国際文化芸術発信拠点形成事業 ふじのくに芸術祭共催事業

世界の演劇シーンをざわつかせる演出家たちが、ゴールデンウィークの静岡に集結！

SPAC-静岡県舞台芸術センターでは、今年もゴールデンウィークに「ふじのくににせかい演劇祭 2020」を開催いたします。“ふじのくに（静岡県）と世界は演劇を通じてダイレクトに繋がっている”というコンセプトのもと、国内外の最先端の舞台芸術を静岡で広く体験していただけるイベントです。

この度、演劇祭で上演される全6作品が決定いたしました。フランスのワジディ・ムアウッド、オリヴィエ・ピイ、そしてロシアのキリル・セレブレンニコフなど、世界の演劇シーンをリードする錚々たる演出家たちの日本初演作が並びます。宮城聡は、唐十郎の伝説的戯曲を新作野外劇として発表いたします。

また宮城演出 SPAC 作品『アンティゴネ』を、東京 2020 NIPPON フェスティバル共催プログラムの一環として駿府城公園で上演します。同時開催のストリートシアターフェス「ストレンジシード静岡」にもご注目ください。

上演全ラインナップ 会期：4月26日(土)～6日(水・休)

静岡芸術劇場

日本初演 演劇 <<<パリ

ワジディ・ムアウッド 『空を飛べたなら』

ムアウッド近年最大のヒット作。家族、そして分断を描く超大作が開幕を飾る。

日本初演 演劇 <<<アヴィニョン

オリヴィエ・ピイ オリヴィエ・ピイのグリム童話 『愛が勝つおはなし ～マレーヌ姫～』

歌い奏でられる魅惑的なグリム童話『マレーヌ姫』の世界。

日本初演 演劇 <<<モスクワ

キリル・セレブレンニコフ 『OUTSIDE -レン・ハンの詩に基づく』

時代の寵児が舞台に解き放つ、写真家レン・ハンへの大なるオマージュ。

日本初演 演劇・映画 <<<リオ・デ・ジャネイロ/ブリュッセル

クリスティアヌ・ジャタヒー 『終わらない旅 ～われわれのオデッセイ～』

映像と演劇、フィクションとリアルの境界を揺さぶる、“現在”への旅。



『空を飛べたなら』©Simon Gosselin



『愛が勝つおはなし ～マレーヌ姫～』
©Christophe Raynaud de Lage / Festival d'Avignon



『OUTSIDE -レン・ハンの詩に基づく』©Ira Polyarnaya



『終わらない旅 ～われわれのオデッセイ～』©MARCEL OLIPIANI

SPAC「ふじのくににせかい演劇祭 2020」についてのお問い合わせならびに取材のご希望は

SPAC - 静岡県舞台芸術センター 広報担当：内田・坂本 までお問い合わせ下さい。

Tel : 054-208-4008 (舞台芸術公園) / E-mail : uchida@spac.or.jp sakamoto@spac.or.jp

舞台芸術公園 野外劇場「有度」

SPAC 新作 演劇 <<<静岡

唐十郎×宮城聡 『おちよこの傘持つメリー・ポピンス』

宮城聡の野外新作劇は、唐十郎の伝説的戯曲。アングラ熱は止まらない！

舞台芸術公園 稽古場棟「BOXシアター」

日本初演 演劇 <<<ジュネーブ/ルナン

オマール・ポラス 『私のコロンビーヌ』

舞台の魔術師が波乱万丈の人生を語り踊る。オマール[Omali]による愛[amor]の賛歌！



『私のコロンビーヌ』©Ariane Catton Balabeau

同時開催

駿府城公園 紅葉山庭園前広場 特設会場

東京 2020 NIPPON フェスティバル共催プログラム

ふじのくに野外芸術フェスタ 2020 静岡 宮城聡演出 SPAC 公演

演劇 <<<静岡

アンティゴネ

5月2日(土)~5日(火・祝)

構成・演出：宮城聡 / 作：ソポクレス / 出演：SPAC

フランス・NYで絶賛された宮城聡×SPACの話題作が、静岡に凱旋！

(詳細は別紙『アンティゴネ』のリリースをご覧ください)



ストリートシアターフェス

ストレンジシード静岡



5月2日(土)~5日(火・祝)

会場：駿府城公園、静岡市役所・葵区役所、常盤公園など静岡市内

料金：予約不要・参加無料 ※一部有料・予約制の場合あり

静岡でしか見られない。静岡でしかありえない。演劇・ダンスでまちを劇場にする、ここからはじまる日本のストリートシアターフェス

主催：静岡市 共催：SPAC-静岡県舞台芸術センター <https://strangeseed.info>

【出演予定アーティスト】* 第一弾発表 (詳細は別紙「ストレンジシード静岡」のリリースをご覧ください)

東京デスロック | 柿喰う客 | 白井剛×森川祐護 (Polygon Head) | ホナガヨウコ | 渡邊尚 (頭と口) × kajii | 劇団子供鉦人 |

劇団 短距離男道ミサイル | 鳥公園 | ワワフラミンゴ | 壺劇屋 | コトリ会議 | 太めパフォーマンス | 不思議少年 | Mt.Fuji | 吉光 清隆

...and more!

演劇祭関連企画

新緑の静岡ならではのイベントも多数ご用意しています。多彩な関連企画もどうぞお楽しみに！

- お茶摘み体験をしよう！ in 舞台芸術公園 ● 広場トーク in フェスティバル garden
- フェスティバルbar (舞台芸術公園) / フェスティバルgarden (駿府城公園)
- ずらナイト / ● みんなの nedoco プロジェクト

■ 「ふじのくににせかい演劇祭」とは

公益財団法人静岡県舞台芸術センター（SPAC）では、1999年に開催された世界の舞台芸術の祭典「第2回シアター・オリンピック」の成功を受けて、2000年より「Shizuoka 春の芸術祭」を毎年行い、各国から優れた舞台芸術作品を招聘・紹介してきました。SPACが活動15年目を迎えた2011年からは、名称を「ふじのくににせかい演劇祭」と改め、新たなスタートを切りました。「ふじのくににせかい演劇祭」という名称には、「ふじのくに（静岡県）と世界は演劇を通して、ダイレクトに繋がっている」というメッセージが込められています。静岡県の文化政策である「ふじのくに芸術回廊」と連携しながら、世界最先端の演劇はもちろん、ダンス、映像、音楽、優れた古典芸能などを招聘し、静岡で世界中のアーティストが出会い、交流する—そんなダイナミックな「ふじのくにと世界の交流（ふじのくににせかい）」を理念としています。

■ SPAC（Shizuoka Performing Arts Center）

公益財団法人静岡県舞台芸術センター（Shizuoka Performing Arts Center : SPAC）は、専用の劇場や稽古場を拠点として、俳優、舞台技術・制作スタッフが活動を行う日本で初めての公立文化事業集団であり、舞台芸術作品の創造・上演とともに、優れた舞台芸術の紹介や舞台芸術家の育成を事業目的としています。1997年から初代芸術総監督鈴木忠志のもとで本格的な活動を開始。2007年より宮城聡が芸術総監督に就任し、更に事業を発展させています。演劇の創造、上演、招聘活動以外にも、教育機関としての公共劇場のあり方を重視し、中高生鑑賞事業公演や人材育成事業、アウトリーチ活動などを続けています。13年、全国知事会第6回先進政策創造会議により、静岡県のSPACへの取り組みが「先進政策大賞」に選出。18年度グッドデザイン賞を受賞、無形の活動が一つのデザインとして高く評価されました。

● 宮城聡(みやぎ・さとし) SPAC 芸術総監督 プロフィール

1959年東京生まれ。演出家。SPAC-静岡県舞台芸術センター芸術総監督。東京大学で小田島雄志・渡邊守章・日高八郎各師から演劇論を学び、1990年ク・ナウカ旗揚げ。国際的な公演活動を展開し、同時代的テキスト解釈とアジア演劇の身体技法や様式性を融合させた演出で国内外から高い評価を得る。2007年4月SPAC芸術総監督に就任。自作の上演と並行して世界各地から現代社会を鋭く切り取った作品を次々と招聘、またアウトリーチにも力を注ぎ「世界を見る窓」としての劇場運営をおこなっている。2017年『アンティゴネ』をフランス・アヴィニョン演劇祭のオープニング作品として法王庁中庭で上演、アジアの演劇がオープニングに選ばれたのは同演劇祭史上初めてのことであり、その作品世界は大きな反響を呼んだ。他の代表作に『王女メデア』『マハーバーラタ』『パール・ギュント』など。2004年第3回朝日舞台芸術賞受賞。2005年第2回アサヒビール芸術賞受賞。2018年平成29年度第68回芸術選奨文部科学大臣賞受賞。2019年4月フランス芸術文化勲章シュヴァリエを受章。

チケット発売日

一般前売り開始 3月8日（日）10:00～

お問い合わせ

SPAC チケットセンター 054-202-3399（10:00～18:00／休業日を除く）

〒422-8019 静岡県静岡市駿河区東静岡2丁目3-1 TEL：054-203-5730／FAX：054-203-5732

E-mail：mail@spac.or.jp

◆ 「ふじのくににせかい演劇祭 2020」の最新情報は・・・

プレスリリース、SPAC公式サイト、演劇祭 2020 特設サイトにて、随時お知らせいたします。

SPAC公式サイト <https://spac.or.jp>

演劇祭特設サイト（2月中旬オープン） <https://festival-shizuoka.jp>

広報担当：内田稔子 坂本彩子 計見葵 西村藍